

1.有明浜の清掃作業

有明浜の清掃は7月と8月は熱中症予防のため中止しました。

9月14日

土曜日午前9時から有明浜の7番ゲート付近、参加人数は19人。



10月12日

土曜日午前9時から有明浜の10ゲート付近、参加人数は15人。



ごみ袋は西日本放送 業務推進局 事業部 菊池さんから提供がありました。今後、使わせてもらいます。



2.観音寺中学校の「ふるさと学習」について

11月1日

観音寺中学校の1年生では「ふるさと探検、発見、ほっとけん！」をテーマに、地元観音寺をもっと詳しく知ろうという学習を進めている。今年もその学習の一環として体験学習を計画。

観音寺中学校の目的は下記。

観音寺市には多くの自然や文化遺産、郷土芸能が残されている。そこで、観音寺の文化、歴史、伝統職に携わっている人から、話を聞いたり、実際に体験したりすることにより、地域を知り、地域に生きる活力を引き出す。

学習場所

観音寺中学校 1年4組教室

参加者

生徒17名、教員1名

飛翔会からの参加者

小西さん、高橋さん、太田晴夫さん、篠原さん、岩橋さん、太田淳一さん





熱心に説明を聞いている生徒。学習の最後にはじゃんけん大会。



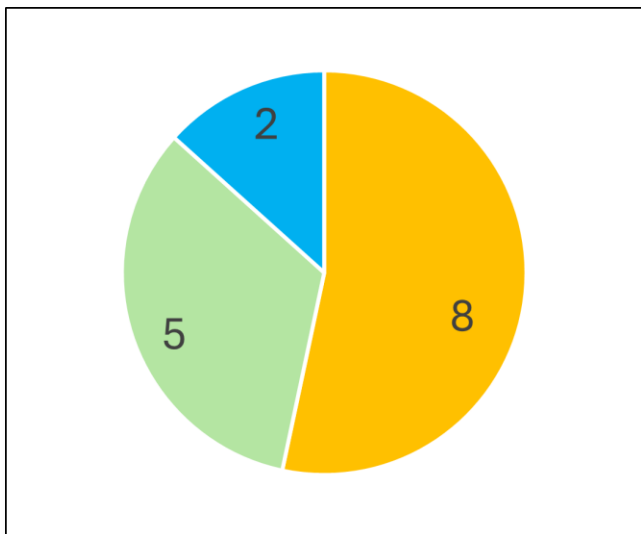
容器に入ったアサギマダラの1齢幼虫に興味深そうに見る生徒ら。



【アンケートの結果】

生徒は 17 人出席でアンケートの提出は 15 人。グラフの数字は人数を示します。

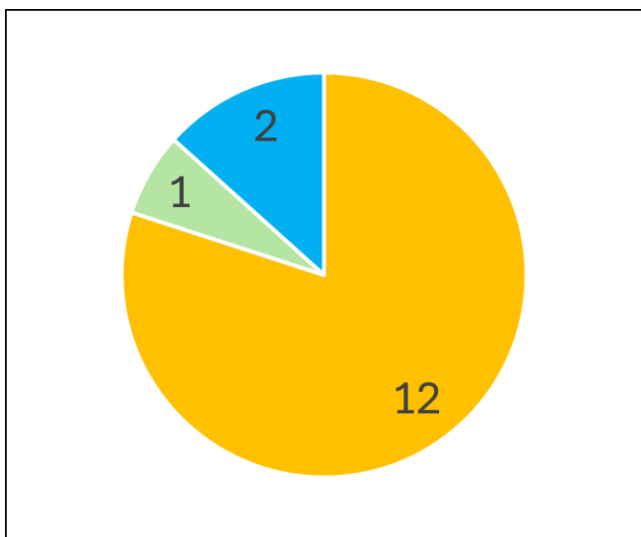
【1】 ハガミ山 木之郷フジバカマ園の取り組みとアサギマダラの生態について



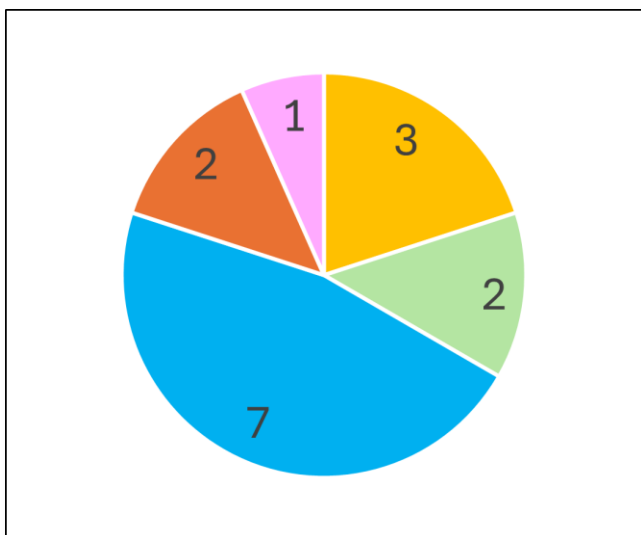
凡例の色分け（すべてに共通）

そう思う	Yellow
ややそう思う	Light Green
どちらとも言えない	Blue
あまりそう思わない	Orange
そう思わない	Pink

① アサギマダラ（木之郷フジバカマ園の取り組み）に興味を持ちましたか。

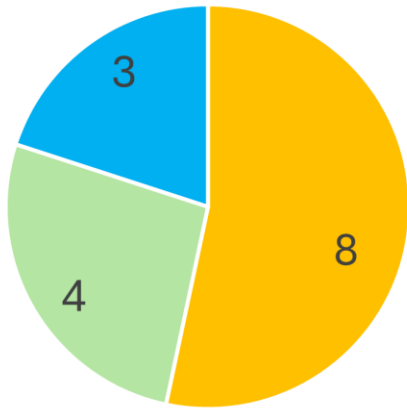


② 資料の提示や説明はどうでしたか。

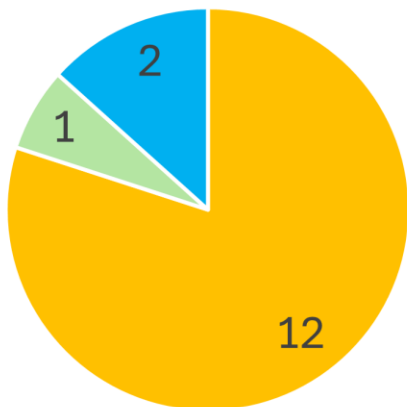


③ アサギマダラの観察や保護活動に参加してみたいですか。

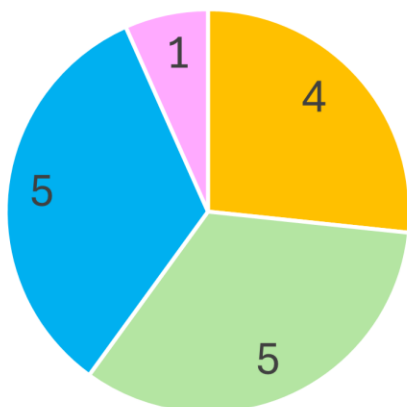
【2】 有明浜の海浜植物の説明と観察について



① 海浜植物に興味を持ちましたか。

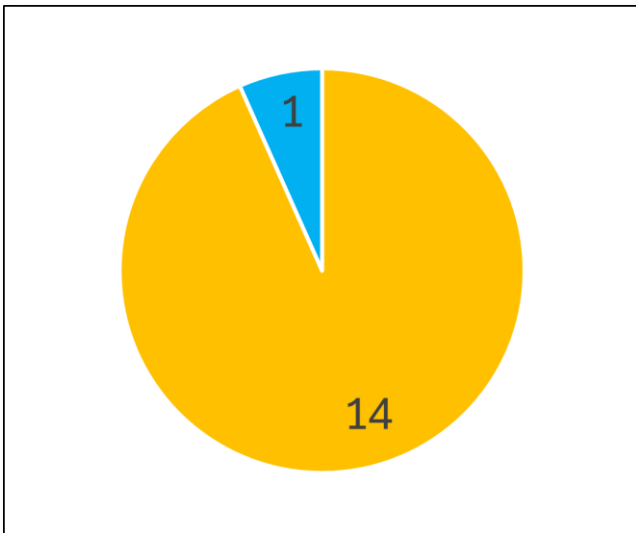


② 資料の提示や説明はどうでしたか。



③ 海浜植物の観察と保護活動に参加してみたいですか。

【3】 ふるさと観音寺の宝物（自然や植物・生き物）を大切にしたい。



生徒から感想文をいただき、紙面の関係で一部割愛して紹介します。文章は原文のままです。

アサギマダラは見たことはあるけど、性別を見分ける方法は初めて知りました。チョウにもたくさんの種類があって、種類ごとにも食べるものが違うと知って神祕的だなと思いました。とても楽しかったです。

今日、ふるさと学習をしてみて、アサギマダラは点がついている方がオスで点がない方がメスなのでまた見つけたときには見てみたいです。
また、ちょうちよが生れたときは、口の管が二本あることがわかりました。これから海浜植物とかを海に行ったときに見るようにしたいです。

資料や説明も分かりやすく、クイズもあったので楽しく取りくむことができました。私たちの有明浜には、貴重で素敵な植物、生き物たちがいることを知ることができました。これから、そういう保護かつどうに参加したりしてみたいです。

今日の話聞いて有明浜は、自然豊かでとてもすごいと思いました。アサギマダラのことにもくわしく知れて、点があるほうがオスで点がない方がメスだと言う事も知りました。海浜植物には色々な種類があって、数が少ない植物や多い植物もあったのでこれからも残せるようにしたいです。楽しかったです。

オスには点がある、メスには点がない。
いろんな植物の名前も知れたし、自分は今まで海に行って遊ぶだけだったけど
チョウチョを見て調べたり、植物に害がある物をとったりして海をきれいに
見れるために、積極的に行動していきたいです。

今日、アサギマダラをふくめるちょうの説明が印象にのこりました。
よく見て見ると1頭1頭きれいな柄をしていて興味を持つことができました。

ぼくは、今日、「ふるさと学習」をしてから海浜植物について興味を持ちました。
アサギマダラや植物はあまり興味を持っていなかったけれどお話を聞いてくわしく
海浜植物が分かって実際にアサギマダラを見て、オス、メスなどの区別が
できるようになりました。楽しかったです。

アサギマダラの見分け方がわかったが心に残った。
海浜植物の名前のゆらいなどがわかっておもしろかった。
チョウのことがふしぎで気になった。自分もいろんなもようのチョウが見てみたい。

生徒による回答にばらつきはあるものの概ね、アサギマダラや海浜植物への関心は『ふるさと学
習』で向上したように感じられました。とても貴重な機会をいただき、心から感謝しています。あ
りがとうございました。



3.消毒作業

白絹病予防及び殺菌のため5月31日、7月4日、7月25日、9月6日の4回にわたり消毒しました。

7月4日

気温の上がない午前中に作業しました。



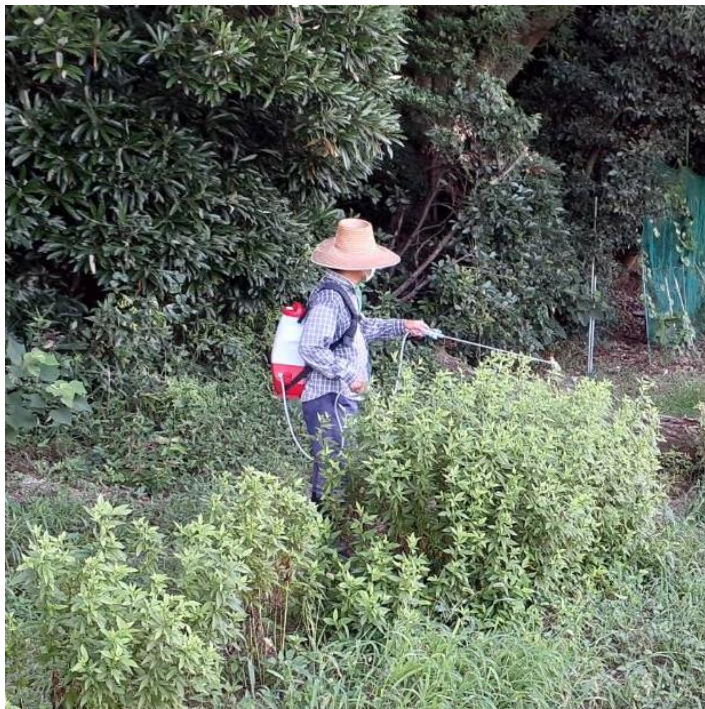
7月25日

水を数本のペットボトルに準備して持参します。背中には汗びっしょりの高橋泰雄さん。



9月6日

フジバカマ園の東方向に植えた苗も消毒します。蕾が付き始めたフジバカマは随分大きくなりました。



4.フジバカマ園 オーナー様の集いを開催(10月20日)



オーナー様からの一言

小西武利さん

木之郷フジバカマ園は、春先から異常気象の続くなか、今年も素晴らしいフジバカマを育ててくれた管理者の太田さん等に、最敬礼です。

秋の集いには約70名の参加者が有りましたが蝶々は1頭も飛来がなかったのは残念だ。



高橋泰雄さん

8時前にイベント準備開始、テント設置して有明浜関係の写真展示、受付3名で対応、来年の1株オーナーの募り、集合写真撮影しました。

フジバカマの切り花は好評でした。準備から終わりまでスムーズに運び皆様方の協力有り難う御座いました。



石川あゆみさん

係りの方に尋ねたら、気温が下がりましたせいかアサギマダラは飛んでないとのこと。でも気温が上がれば登場するかもしれないと思い、12時まで粘りました。帰り支度を始めたたら一頭、飛んで来てくれました。写真や動画に収めたくて追いかけまわしw 一頭だけでしたが満足満足♪



川上裕子さん

フジバカマは美しく咲き匂っていました。気温が低く、やはりアサギマダラは現れなかった。集合写真を撮り、しばらくして、「来たよ!」という一歌ちゃんの声。11時過ぎ、1頭がひらひらと優雅にやって来た。明日は気温が上がりそうだから期待できると思いながら帰りました。



矢野英二さん

オーナー様の集いはゆる〜くアットホームな会です。



5.一歌の東京遠征 2024

寄稿 太田淳一さん

私は、ずっと目標にしてきたことがあります。それは、「インセクトフェア」に出店することでした。この「インセクトフェア」というのは、毎年9月23日の秋分の日に開催される、昆虫標本の即売会です。昆虫が好きな人や、珍しい虫を集めている人たちがたくさん集まる場所で、とてもにぎやかなイベントです。出店は、もっと先のことだと思っていましたが、背中を押してくれた人がいたので、思い切って今年出店しました。

何を持って行ったかという「ライブ標本」です。去年から「ライブ標本」という標本を作るようになりました。「ライブ標本」というのは、みなさんがよく知っている、翅(はね)を開いた状態の標本とは少し違います。普通の標本は、チョウの羽を広げた形で作られますが、ライブ標本は昆虫が活着しているかのような自然な姿を再現することを大切にしています。たとえば、チョウが飛び立とうとしている瞬間や、草の上で休んでいるようなポーズをそのまま残すことを意識して作っています。

出店は、まず申し込みからです。運営様から「屋号を決めてください」とのこと。屋号？初めてのことです。悩んだ結果「宿題は後回し」にしました。いつも育てている昆虫のお世話や昆虫採集で宿題を後回しにしていたからです。そして申し込みをして1ヶ月間頑張って準備をしました。持って行く標本作成、お店の看板作り、値札、並べ方などあつという間に東京に行く日が来ました。



いよいよ東京に行きます。2泊3日です。最初の1泊は、寝台特急サンライズ瀬戸です。夜に出発して朝の7時に東京につきました。1日目は、観光で、恩賜上野動物園、国立化学博物館の特別展昆虫 MANIAC、足立区生物園です。どこも素敵な場所でした。

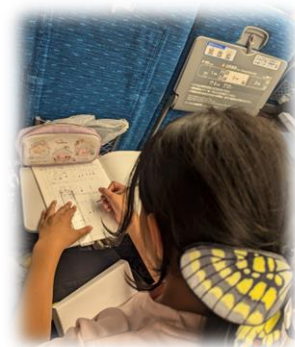
1日目で一番感動したのは、足立区生物園です。ここはとても大きな温室があり、一年中チョウがいます。本州では、見る事の出来ない「スジグロカバマダラ」、「リュウキュウアサギマダラ」、「オオゴマダラ」の様なアサギマダラの仲間がたくさん飛んでいました。触ってはいけないルールでしたが、こんなに近くに。他にも「コノハチョウ」、「リュウキュウムラサキ」、「ツシマウラボシシジミ」、「ツマベニチョウ」など本当にたくさんのチョウがいました。飛んでいる姿や産卵の瞬間が観察できたので、感動しました。




2日目は、どきどきのインセクトフェアです。会場についたら机に標本を並べて、値札をつけて、お客さんが見やすく並べ、お店を作りました。「宿題は後回し」の開店です。



最初は、あまりお客さんが来てくれませんでした。だんだん増えて、持って行ったケース付きのライブ標本は、全部売れました。標本が売れて嬉しかったですが、もっと嬉しい事がありました。それは、いろいろな方と昆虫の話が出来た事です。ここに来る人は、みんな昆虫好きです。なので、専門的な話から「生きた昆虫をよく観察して作ったね」とか「天才じゃん」とか「どうやって作ってるんですか?」とか。心に一番残ったことは、昆虫標本が初めての方が私の標本を選んでくれたことです。本当にうれしかったです。インセクトフェアもあっという間でした。急いで片づけをして新幹線に乗り、後回しにしていた3連休の宿題をやりました。来年もまた、インセクトフェアに行きたいです。





口いっぱい広がるえびの風味

有限会社 満久屋

www.makuya.jp

6.ウンランが開花しました

10月26日にウンランが開花したとの連絡がありました。写真はフェイスブックから引用しています。10月31日には花は散っていたそうです。関 雅美さんの撮影です。



7.文化コーナーへの参加

11月2, 3, 4日 三宅産業の総合展示会の会場の中、文化コーナーに場所をお借りしアサギマダラの写真や有明浜の海浜植物パンフレットを展示しました。



8.有明浜の海浜植物シリーズ【第7回】

キノコの1種、コナガエノアカカゴタケは海浜植物ではありませんが、大変希少なキノコであり載せました。2022年4月30日に「愛媛きのご観察会」所属の寺本辰己さんが、有明浜6番ゲート付近で見つけました。



だより14号は広報誌編集委員が作成しました。

2024年12月発行



ホームページ

従来は広報誌 有明浜の海浜植物とアサギマダラだよりとしていましたが、実験的に ariakehama.org として発行します。